

令和 7 年 1 0 月 1 3 日

アイスランド出張 報告書

氏名：伊藤優斗

所属：名古屋大学・宇宙地球環境研究所／大学院工学研究科電気工学専攻 塩川研究室（修士 1 年）

滞在期間：令和 7 年 10 月 5 日（日）～令和 7 年 10 月 12 日（日）

滞在先：Húsafell（アイスランド）

今回、令和 7 年 10 月 5 日から同年の 12 日にかけてアイスランドの Húsafell 観測点にて、国立極地研究所の門倉昭先生と田中良昌先生とともに誘導磁力計の修復および全天カメラの回収作業を遂行した。

アイスランドでの滞在期間は現地時間 10 月 6 日から 10 日の五日間にわたり、初日は飛行機の到着地点である Keflavík から Húsafell までの移動に費やされた。作業は現地時間 10 月 7 日から 9 日の三日間かけて行われた。一日目はあらかじめ日本から送られてきた誘導磁力計のプリアンプを設置した。その後、新しいケーブルを出力側につなぎ、磁力計が正しく動いていることを確認した。また、指定された全天カメラのパーツを回収した。二日目は前日接続したケーブルを、スコップやツルハシを用いて地中に埋めた。三日目は引き続きケーブルの埋設を行った後、Borgarnes にてカメラの部品を日本に送り返す手続きをした。さらに出張の最終日はアイスランド大学にて Klausen 先生と情報交換をした。

Húsafell での作業を通して、研究活動は頭脳を使うだけではなく、時にはデータの取得のために体を動かすこともあるのを実感した。もし機会があればの話にはなるが、今回修復した誘導磁力計や全天カメラのデータを利用した研究ができることに期待したい。



写真 1：Húsafell 観測点でのケーブル埋設の様子



写真 2：Húsafell 観測点でお世話になった方々（左から順に伊藤、スノーリさん、田中先生、門倉先生）